



「山嶺露の家」株式会社サン工房



基調講演「和の住宅」

講師

株式会社サン工房 代表取締役

松井 進 氏

1月28日(金)

参加無料
要予約

15:00～17:00 開場 14:30

会場：TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター「ホールA」

お申し込み

裏面に必要事項を記入の上、FAXいただくか、
Web フォームよりお申し込みください。(先着順)

推進リレーションシップ
in 神奈川
和の住まい

令和三年度

【主催】一般社団法人神奈川県木造住宅協会 【お問合せ】046-264-8759

【共催】一般社団法人木を活かす建築推進協議会、神奈川県住宅・建築関係事業者支援協議会

【協力】和の住まい推進関係省庁連絡会議（国土交通省・農林水産省・経済産業省・林野庁・文化庁・観光庁）

令和三年度 和の住まい 推進リレーシンポジウム in 神奈川

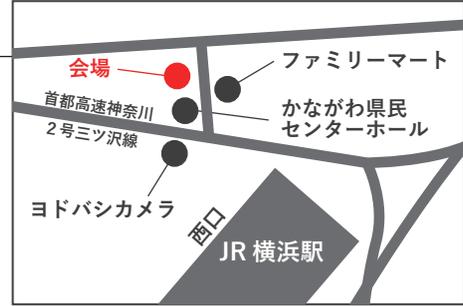
シンポジウム詳細情報

日時 1月28日(金) 15:00～17:00

会場 TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター「ホールA」

住所 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-1 横浜谷川ビルディング ANNEX B2F

収容定員の50%になり次第、受付終了となりますので、お早めにお申込みください。



当日のプログラム

1. 各省庁の取り組み 国土交通省、林野庁、観光庁
2. 基調講演『和の住宅』 株式会社サン工房代表取締役 松井進氏



講師 松井進氏

日本の家の特徴としてまず思い描かれるものは、勾配が付けられた屋根と軒の深さではないかと思います。日本は雨の多い国であり、雨水が建物に侵入すると建物を早く傷めるおそれがあるため、必然的に屋根は勾配が付けられ軒はなるべく出す形になったと思われます。

また深い軒は夏季に強い日差しを遮る効果もあり、季節ごとの日照を調整できます。構造体である柱と梁のフレームのあいだには大きな窓になっている場合が多く、この窓から外部の風を取り入れ、明るい光を導き入れます。庭や外部の景色も積極的に取り入れることができるのもこのような大きな窓のおかげです。

こうした気候の影響をうまくコントロールしながら自然をうまく利用しようとする環境共生型ともいえる「日本の家」のつくりかたや技術は、エネルギー消費の抑制が課題となっている今日では、一層評価されるべきであると考えます。

和の住まい推進リレーシンポジウムとは？

日本の地域の気候・風土・文化に根ざした住まいづくりや住まい方を含め、日本の住文化の良さの再発見・普及に向けた「和の住まい」を推進する。

お申し込み 申込締切 1月26日(水)

以下に必要事項を記入の上、FAX いただくか、Web フォームよりお申し込みください。(先着順)

シンポジウム参加申込書 FAX 0545-35-3569

お申し込みは、お一人につき1枚の申込書をご使用ください。

フリガナ	
参加者名	
お電話	— —
メールアドレス	

■新型コロナウイルス感染対策

当シンポジウムは、収容定員の50%以内の人数で、人と人との距離を保ち、換気に留意して実施します。

咳や発熱などの体調不良の症状がある場合は受講をご遠慮ください。

入場時の検温、マスクの着用、手指の消毒、咳エチケットの励行など感染症予防対策にご協力ください。

個人情報のお取り扱いについて：お預かりした個人情報は、一般社団法人神奈川県木造住宅協会にて厳重に管理し、シンポジウムやアンケート業務にのみ使用させていただきます。当該業務の委託が必要な範囲で委託先に提供する場合を除き、個人情報をお客様の承諾なく第三者に提供することはありません。個人情報保護法に基づき厳重に管理いたします。

こちらのフォームから Web でもお申し込みいただけます。QRコードよりアクセスの上、ご入力ください。

